

APDF 総会および会議報告

【期間】 2008年2月27日-29日

【会場】 中国バングラデシュ友好国際会議場、ダッカ

【参加者数】 450人。海外26カ国から150人。うち障害のある参加者は114人。
国内政府関係者は40人。日本からはJDF加盟団体中心に22人参加した。

【プログラム】 開会式、全体会（3）、分科会（12）、発表の申込みは44件。特別プログラムとしてUNESCAP企画による「ミレニアム開発目標」に関するセミナーが開かれた。またAPDF会議の翌日の3月1日には、ICEVI主催による視覚障害者のための教育に関するセミナーがポスト会議として開催された。

【成果】

- ・ 開会式にバングラデシュの首相代行（チーフアドバイザー）が厳重な警戒のもとに出席された。開会式の様子はテレビで生中継され、障害問題の国内での啓発に大いに役立ったといえる。
- ・ 会議には要人が参加した。（アフガニスタンから副大臣一行、世界銀行など）
- ・ 最終日に7ページに渡る報告書が参加者に配布された。報告書には、各分科会のハイライト、提案などが盛り込まれた。
- ・ 会議場で撮影された268枚の写真の入ったCDと、発表原稿が入ったCDが配布された。
- ・ ボランティア約50人が活躍した。ほとんどが大学生で、軍の訓練を受けている人が主だったが開発における障害センター（CDD）の障害研修を受けた学生もいた。
- ・ 点字プログラムが必要な参加者に配布された。
- ・ 手話通訳が配置された。（ベンガル対応手話と国際手話）
- ・ **Behind the scene** という事務局便りが毎日発行され、会議の準備とこと、参加者の様子が紹介された。
- ・ 上記と重複するが、開催団体であるNFOWD（全国障害者団体協議会）が開催業務はすばらしかったことを参加者に印象付けた。
- ・ 全体会、分科会をとおして、バングラデシュ国内の参加者から活発な質問やコメントがあったのが印象的であった。
- ・ 日本からの参加者はJDF中心に22人であった。
- ・ 日本人参加者のため現地で日本語同時通訳を雇ったが、語彙の問題などから、通訳できなかったため、急きょ参加者で出来る人に通訳していただいた。

【APDF 総会の結果】

主な議題のひとつは、2008年から2010年の役員を選出。

会長（開催団体の代表から選出される）には NFOWD 代表のカンダカール・アラム氏が就任した。

それ以外の役員では、副会長に広域をカバーしている PDF(太平洋障害フォーラム)から一人選出すること、前会長職と事務局次長職を置くことについての提案があり、基本的には承認された。しかし、正式には規約改正が必要なため、規約改正案をメールで全会員に送り、その賛否を問うという手続きをとることとした。

今回の総会で承認された役員は、つぎのとおり。

前会長：ジュディ・ウィー氏（シンガポール）

副会長：中西正司氏（DPI アジア太平洋地域協議会議長）

ジョセフ・クオック氏（香港心身障害者リハビリテーション協会、香港）

PDF（太平洋障害フォーラムの代表を新たに加えることとなった。人選は PDF により行われる。）

作業委員会委員長：

1. 条約と BMF：モンティアン・ブントアン氏（タイ上院議員、タイ盲人協会）
パキスタン障害基金からも推薦される。
2. 情報：ジョセフ・クオック氏
ズオン・ティ・バン氏（ベトナム）
3. 次回 APDF 会議：トエ氏。（ベトナム）
4. 調査開発：チョン氏（韓国リハビリテーション協会、韓国）
ティング・ワン氏（タイ、レオナルド・チェシャー・インターナショナル）
5. ジェンダー：テワイ・ハラタウ氏（PDF, ニュージーランド）
サオワラック氏（DPI AP 地域コーディネーター）
6. アクセシブル観光：ロバート・リン氏（エデン福祉基金、台北）
7. アクセシブル交通：ジュディ・ウィー氏
グラム・ナビ・ニザマニ氏（ASA, パキスタン）
8. 障害のある児童とユース：モシャラフ・ホサイン氏（ADD, バングラデシュ）

事務局長には松井亮輔氏が継続することになり、寺島彰氏（JDF 国際委員長）が事務局次長に指名された。

事務局はリハビリテーション協会に置かれることになった。

【今後の会議予定】

2009年9月後半 IDA が ESCAP と共催でアジア太平洋地域でトレーニングを開催する予定。その際、ESCAP 主催のワークショップおよび BMF-SCM 委員会も予定される。また APDF 役員会も開催の予定。

2010年 ベトナムに予定しているが、今回の総会にベトナムから誰も参加しなかったため、確認することとした。

2012年 韓国

その他の関連会議：

2009年 4月 アクセシブル観光会議（シンガポール DPA 主催）

2009年11月以降 ESCAP 主催アクセシブル観光会議（飛騨高山市）

【その他】

昨年2月のAPDF役員会での決定に基づき、IDA に加盟申請し、承認された。（その結果障害者の権利条約発効を祈念して5月12日に予定されているIDA障害者権利条約フォーラムには、APDF代表も参加することになる。）

APDF は GPDD（開発と障害に関するグローバルパートナーシップ）という世界銀行が主導する国際的ネットワークに加盟することになった。（5月のGPDDの会議にAPDF代表が出席予定。）

以上。